RICOH　RICOH PJ 天吊り金具タイプ 3

組立設置説明書

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。

本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や
施工業者に依頼してください。

施工業者様へ

お客様の安全のため取付場所の強度は、本機の荷重に耐えられるよう
十分ご注意の上、設計施工をお願いいたします。取付場所の構造や
強度は、設置環境により異なりますので、施工業者様が調査の上、
最適な取付方法を選択し施工を行ってください。

もくじ

安全上のご注意・・・・・・・1～2

仕様・・・・・・・・・・・・・・・・3

セット内容の確認・・・・・・4

組立・取付方法・・・・・・・・5～9

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

安 全 上 の ご 注 意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、
必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。

⚠ 警告

定期的に点検を依頼する
販売店または施工業者にご相談ください。
搭載プロジェクターの変形がある場合は、ボルト等が緩んでいる可能性、もしくは天井等の亀裂、腐食等が考えられ、その状態のまま使用すると搭載プロジェクターが落下する恐れがあります。

工事専門業者以外は取り付け、取り外し工事をしない
工事の不備により、本機が落下してけがの原因となります。

プロジェクターハンガーにぶらさがったり、ゆすったりしない
本機または搭載物が落下する恐れがあります。

物を掛けない、プロジェクター以外搭載しない
本機または搭載物が落下する恐れがあります。

本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。
口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

落下等の事故の原因になりますので、同梱された部品以外は使用しないで下さい。

⚠ 警 告

設置作業は必ず二人以上の作業者で行う

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

設置をする天井面は、本機に十分耐えうる強度を確保してください。強度が不足している場合は補強工事をおこなってください。取付ボルトを締め付ける際は、電動工具による締め付けはおこなわないでください。本機が落下し破損するだけでなく、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。
また、油煙が多い場所や薬品等が付着しやすい場所に設置しないでください。

設置後の方向、傾斜調整は所定のボルトを緩めてから調整し、調整後は緩めたボルトを確実に締め付ける

設置後、所定のボルトを緩めずに方向・傾斜調整をすると、本機または搭載物が落下する恐れがあります。

塔載するプロジェクターは必ず所定取付位置に設定する

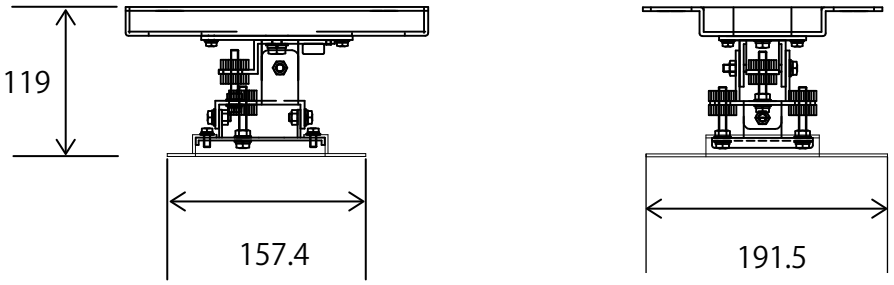
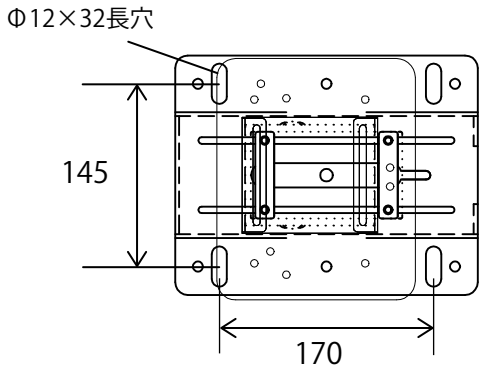
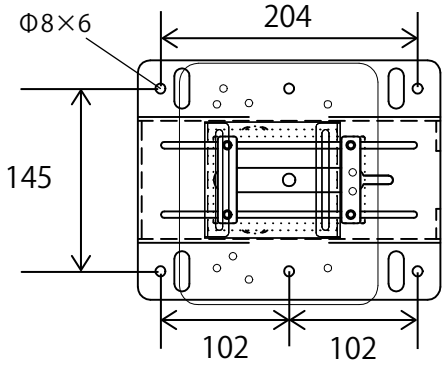
所定取付位置外で設定すると、本機または塔載物が落下する恐れがあります。

⚠ 注 意

プロジェクター設置にあたっては、プロジェクターの説明書と異なった設置条件での取り付けはしない

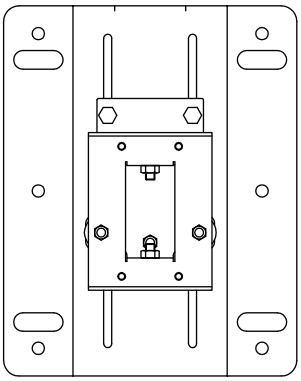
■ 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

仕　様

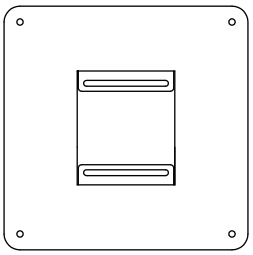
<table>
<tr><td>商品名</td><td colspan="2">RICOH PJ 天吊り金具 タイプ3</td></tr>
<tr><td>製品寸法(mm)</td><td colspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td>角度調整</td><td colspan="2">上傾斜±5°　下傾斜±5°　左右傾斜±5°</td></tr>
<tr><td>製品質量(kg)</td><td colspan="2">約2.7</td></tr>
<tr><td>最大搭載質量
(kg)</td><td>アンカーボルト使用時
(M10アンカーボルト4点止めの場合)
20.0kg（※）
 
</td><td>木下地（t 21）使用時
(M6×30木ねじ6点止めの場合)
20.0kg（※）
 
</td></tr>
</table>

※最大搭載質量については、設置面の支持強度が十分確保されており、取付ボルトおよびねじが適正な施工をされている場合の質量です。
※プロジェクターの質量についてはプロジェクターの説明書をご確認ください。
※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

セット内容の確認



■天井取付金具

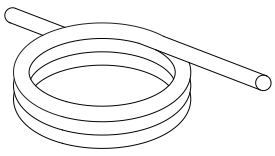


■プロジェクター取付金具
（プロジェクター取付用ネジ×4本）
※取り付けるプロジェクターによって形状が異なります

■六角セムスネジ(M5×8)×4本

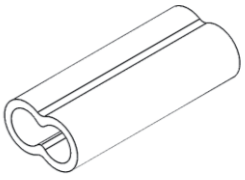
■落下防止ワイヤーセット

※ワイヤークリップの取り付けはスパナ(サイズ5.5)が必要です。



■ワイヤーロープ

■ワイヤークリップ

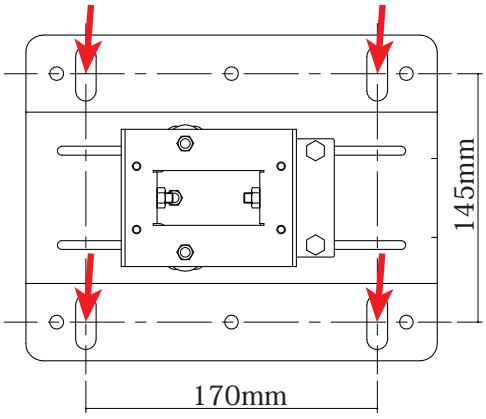


■クランプ管

組立・取付方法

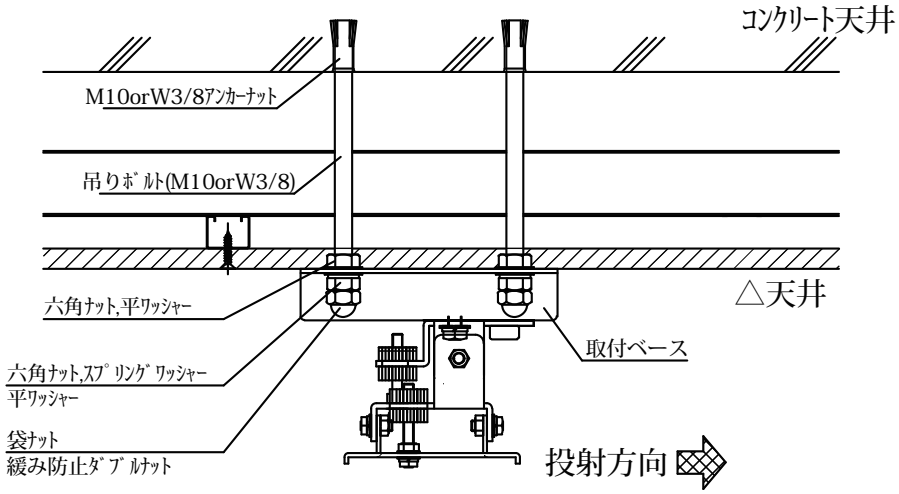
1. 天井取付金具を天井面に取り付ける

天井取付金具を吊りボルト（M10 or W3/8×4本）で
取り付けてください。



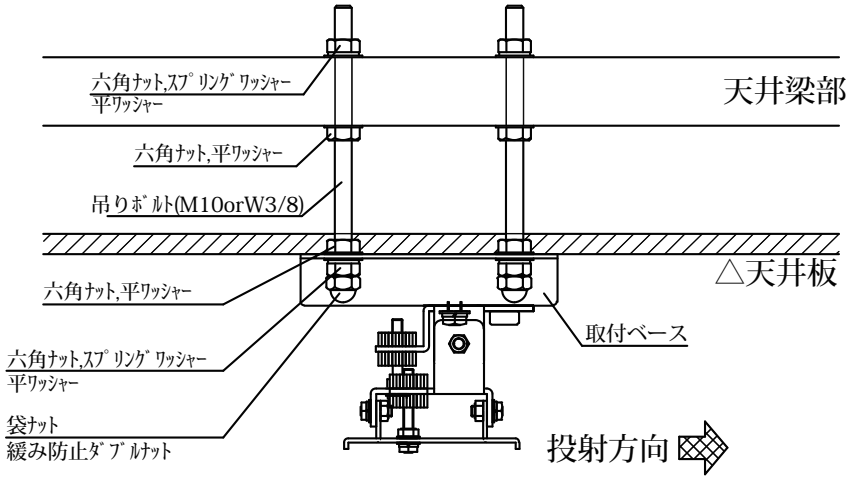
※取付けボルトの固定方法

取付部がｺﾝｸﾘｰﾄの場合



取付部が木造の場合

取付部が木造の場合　吊りボルト4本を天井梁部にしっかりと固定し、ボルトを保持する場所が
プロジェクターと天吊り金具の質量に十分耐える強度があるか確認し施工して下さい。

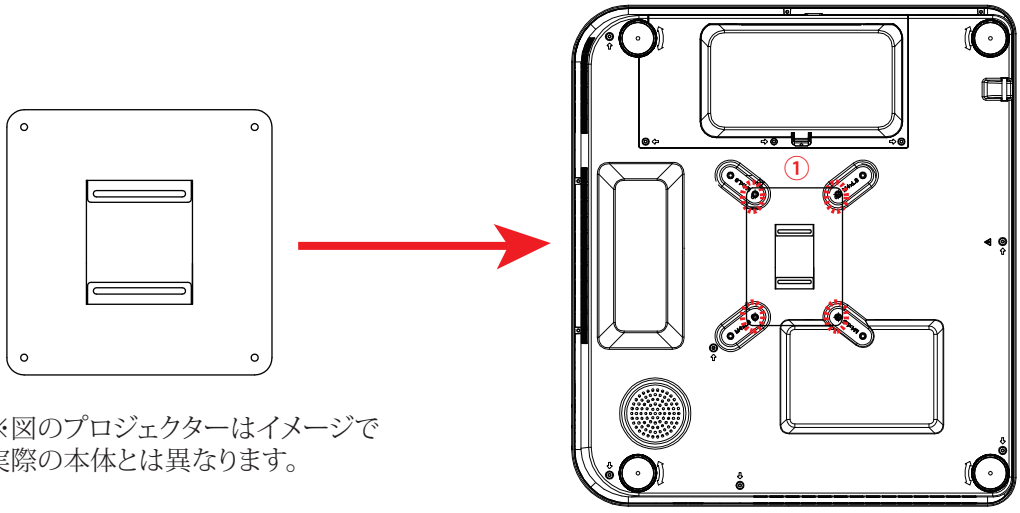


※ 強度が不足する場合は
安全係数に留意して
補強して取り付けて下さい。

プロジェクター取付金具の取り付け

1. プロジェクターに取付金具を取り付ける

プロジェクターに、プロジェクター取付金具を右図の、①の4ヶ所に付属ネジを用いて取り付けます。
（プロジェクターのメーカーにより、取付金具は異なるものが準備されます）

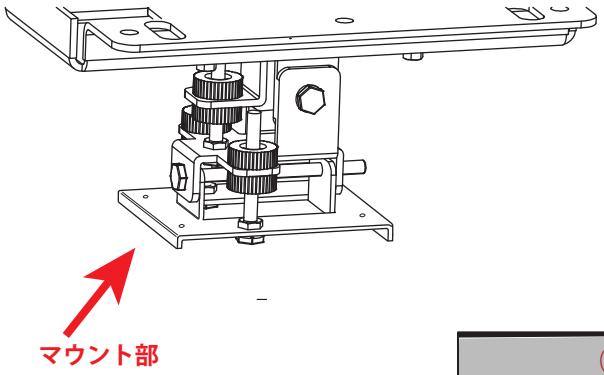


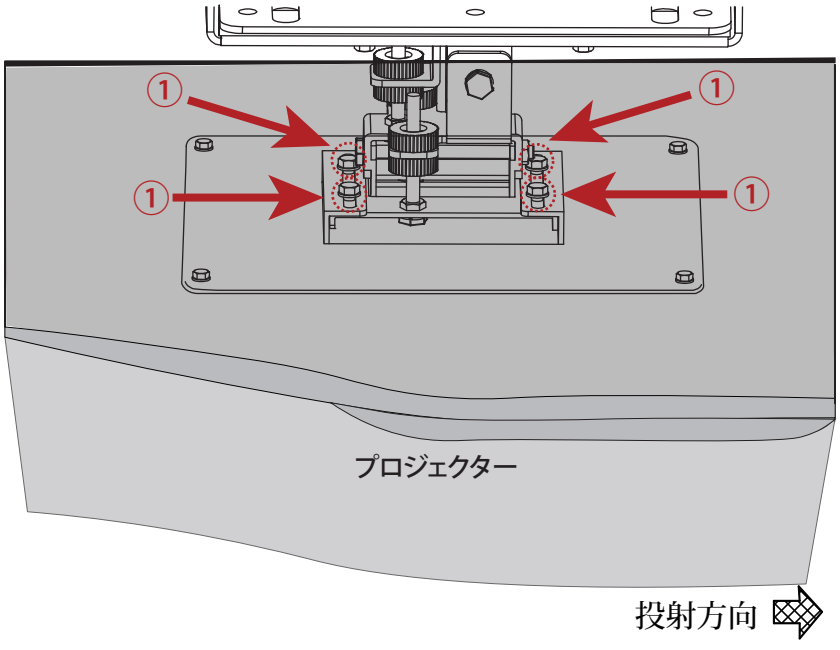
※図のプロジェクターはイメージで
実際の本体とは異なります。

プロジェクターの取り付け

1. プロジェクターをマウント部に取り付ける

プロジェクター取付金具をマウント部分に適切な位置までスライドさせ、
①のように、六角セムスネジ（M5×8）で4箇所を固定します。

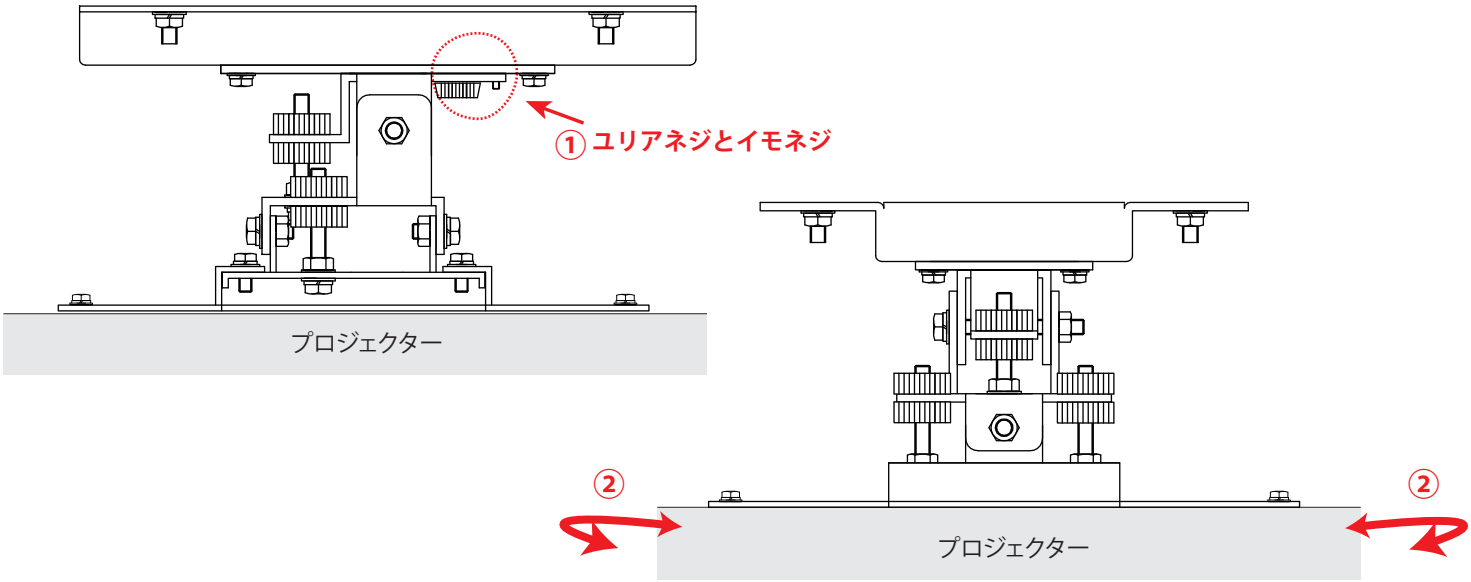




プロジェクターの角度調整

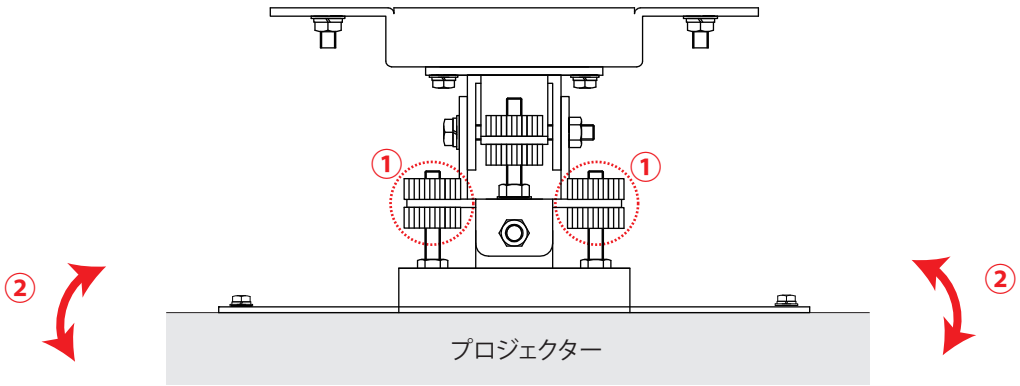
1. 横回転方向の調整

画面投影時、プロジェクター角度の横回転での調整を
図の、①ユリアネジとイモネジ（後方1ヶ所）を緩めて、②矢印方向に回転させて調整します。
位置が決まりましたら、ユリアネジとイモネジを締めて固定します。



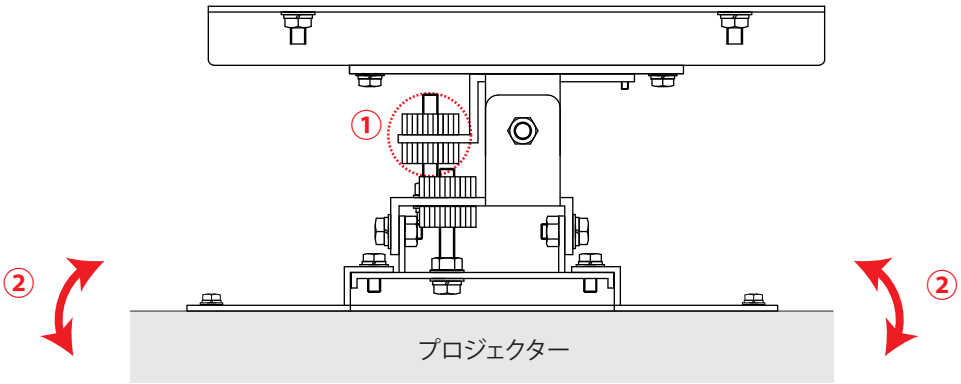
2. 左右傾き方向の調整

画面投影時、プロジェクター角度の左右傾きの調整を
図の、①化粧ナットを緩めて、②矢印方向に傾斜させて調整します。
位置が決まりましたら、化粧ナットで金具を挟み込むように固定してください。



3. 前後傾き方向の調整

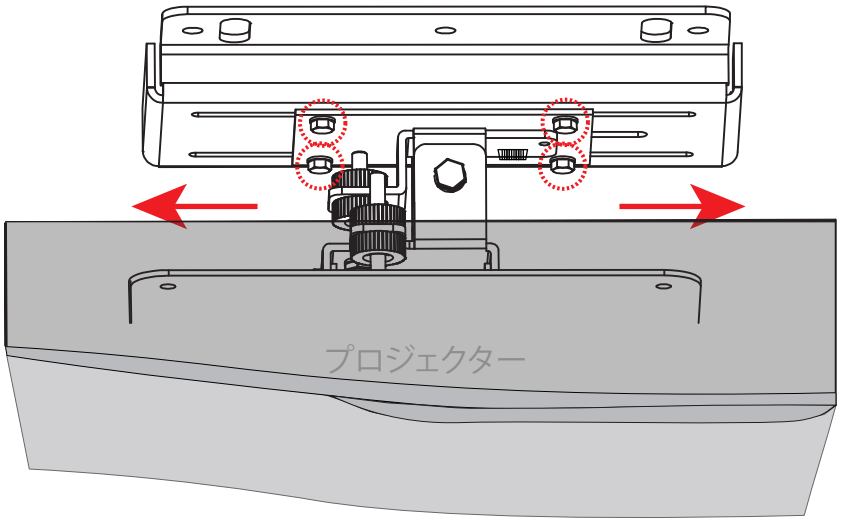
画面投影時、プロジェクター角度の前後傾きの調整を
図の、①化粧ナットを緩めて、②矢印方向に傾斜させて調整します。
位置が決まりましたら、化粧ナットを締めて固定します。
化粧ナットは、金具を挟み込むように固定してください。



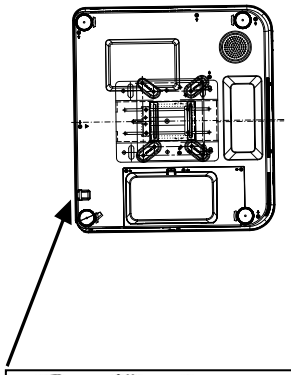
プロジェクターの前後移動

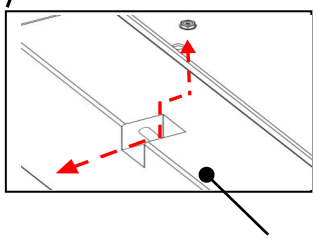
1. プロジェクター位置調整方法（前後50mmずつ移動可能）

図中のネジ4本(M5×20)を緩めます。
動かしたい位置にプロジェクターを動かします。
位置が決まりましたらネジ4本(M5×20)を締めて固定します。

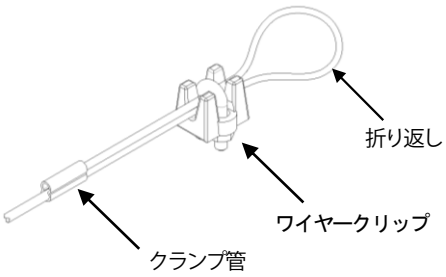


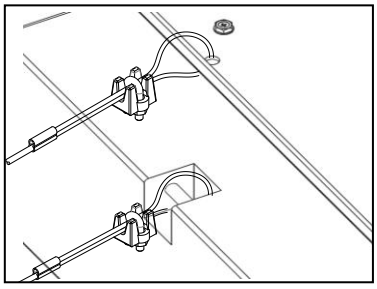
落下防止ワイヤー取り付け





プロジェクター本体





<<手順 1>>

ワイヤークリップ 2 個とクランプ管 2 個にワイヤーロープを通します。

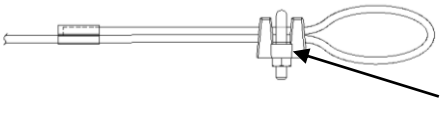
<<手順 2>>

片方のワイヤーロープは PJ 取付ベースの穴に通し折り返しワイヤークリップで固定します。固定の際はワイヤーロープの輪が小さくなるようワイヤークリップをスライドさせてください。

※ ワイヤークリップの取り付けはスパナ（サイズ 5.5）が必要です。

※ U ボルトねじ部がそれぞれ 6㎜ 程度飛び出すよう、ナットを締め付けてください。

※ ワイヤークリップの本体はワイヤーロープの力がかかる側にあること。



<<手順 3>>

折り返したワイヤーロープの端がクランプ管からはみ出さないようにしペンチでしめてください。

<<手順 4>>

もう一方のワイヤーロープをプロジェクター本体に通しワイヤークリップで固定します。固定の際はワイヤーロープがたるみすぎないよう長さを調整してください。

●余分なワイヤーロープは切ってください。

<<手順 5>>

折り返したワイヤーロープの端がクランプ管からはみ出さないようにしペンチでしめてください。